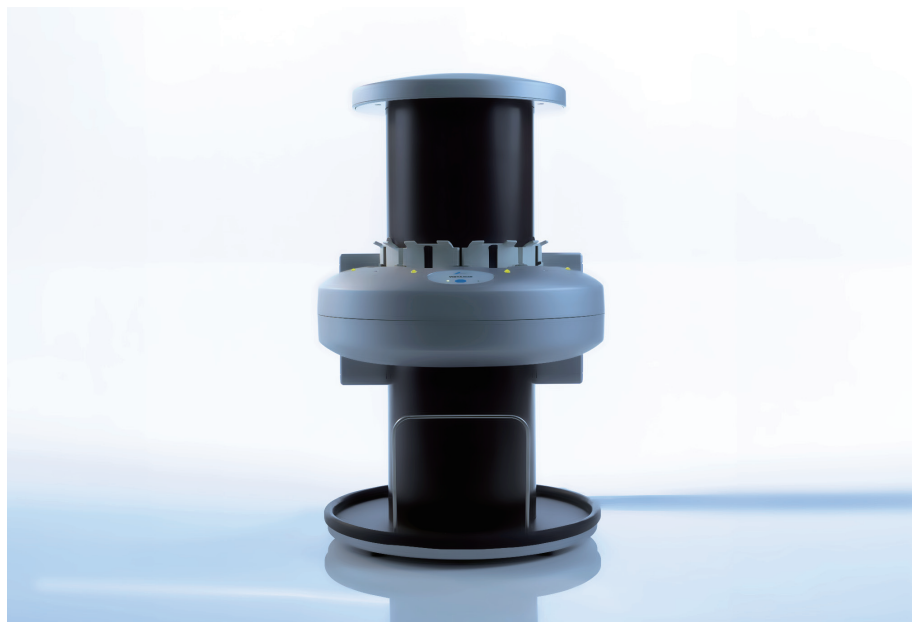


VistaScan Plus

デュールデンタル イメージングプレートスキャナー

ビスタスキャン プラス

取扱説明書



医療機器認証番号
219AGBZX00046000



9000-618-75/ 10



© DÜRR DENTAL AG, Germany

 **DÜRR
DENTAL**

2011/07/08

目次

1. 安全にお使いいただくために.....	3
1.1 ご使用前のおことわり.....	3
1.2 一般警告.....	3
1.3 ソフトウェア.....	3
1.4 設置場所.....	3
1.5 イメージングプレートの使用.....	3
1.6 電気の安全性についてのご注意.....	3
1.7 重要情報表示について.....	4
1.8 シンボルの意味.....	4
1.9 製品番号ラベル.....	4
1.10 廃棄処分について.....	5
2. 製品情報.....	5
2.1 製品の用途.....	5
2.2 誤った用途でのご使用.....	5
3. システムに必要な装置.....	5
3.1 レントゲン装置のフィルムカセット.....	5
3.2 モニター.....	5
4. 同梱品／付属品.....	6
4.1 オプション品／消耗品.....	6
5. 仕様.....	7
5.1 本体.....	7
5.2 イメージングプレート.....	7
6. 製品の概略.....	8
6.1 本機の機能.....	10

組み立て／設置

7. 本体の輸送.....	11
8. 本体の持ち運び.....	11
9. 設置.....	12
9.1 設置場所.....	12
9.2 設置方法.....	12
9.3 日よけバイザーの取り付け方.....	13
10. 接続.....	13
10.1 パソコンへの接続.....	13
10.2 電源の接続.....	13
11. 運転開始の前に.....	14
11.1 ソフトウェアのインストール.....	14
12. 運転開始.....	14
12.1 設定とテスト撮影.....	14
12.2 レントゲン装置の照射時間（秒）.....	14

使用方法

13. イメージングプレートの使用.....	15
14. 保護カバー.....	17
15. カセット.....	17
16. デンタル撮影.....	18
16.1 健康を守るために.....	18
16.2 保護カバーの使用.....	18
16.3 レントゲン撮影.....	19
16.4 デンタルIPのスキャン準備.....	20
16.5 デンタルIPのスキャン.....	21
17. パノラマとセファロの撮影.....	22
17.1 レントゲン撮影.....	22
17.2 パノラマ／セファロIPのスキャン.....	23
18. DBSWIN ソフトウェア使用例.....	24
19. イメージングプレートの消去.....	25
20. 衛生について.....	26
21. メンテナンス.....	27

トラブルシューティング

22. “故障” かな？と思ったら.....	29
------------------------	----

付録

スキャン時間.....	34
画像ファイルのサイズ.....	35

1. 安全にお使いいただくために

この度はデュールデンタル製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の性能をよくご理解いただき、よりよい診療にお役立ていただきますよう、お願い申し上げます。

1.1 ご使用前のおことわり

- この使用説明書は本機の近くに保管し、必要なときにいつでも読めるようにしてください。本使用説明書の遵守は、本来の目的で正しく本機を使用するための前提条件となっています。また、新スタッフは機器の使用方法を習得する際にも必要です。
- 付属品やスペアパーツには、デュールデンタル社によって提供された純正部品以外はご使用にならないでください。純正ではない部品や付属品が使用された場合、デュールデンタル社は本機の安全性や正常な機能に対する保証はできませんのでご了承ください。
- 設置、サポート、メンテナンス、修理はデュールデンタル社によって指定された代理店のみが行えます。上記のような場合は、本機をお買い上げになった指定代理店にお問い合わせください。
- 本書で使用されているシステム、方式、商標は全ての著作権をデュールデンタル社が保有しています。
- デュールデンタル社の承認を受けることなく、本書に記載されたデータの再刷及び無断転載をすることは、一部または全部に関わらず固くお断りいたします。

1.2 一般警告

- 使用に際しては、その国や地域で定められた規則・法律に従ってください。本機の改造や変更は固くお断りします。法の遵守に関しては所有者と使用者の責任となります。
- 本機を移送する場合は、できるだけ納品時の箱を使用してください。そのため箱はお子様の手の届かない場所に保管しておいてください。

- 本機は医療機器であり、使用者は、操作を熟知する必要があります。訓練を受け、正しい使用経験を身に付けた方によって操作されなければなりません。
- ご使用する前に、機能の安全性と本機の状態を点検してください。
- 本機は爆発の危険性のある空間ではご使用にならないでください。爆発の可能性のあるのは、例えば酸素ボンベ、皮膚消毒剤、その他のアルコール含有物質が使用される空間を言います。

1.3 ソフトウェア

- 本機にはデュールデンタルが承認したソフトウェアのみをお使いください。高画質を得るためには、付属のソフトウェア「DBSWIN」をお奨めします。

1.4 設置場所

- 設置場所は治療場所から 1.5m 離してください。患者さん、使用者、周辺環境の安全性を確認してから、設置してください。設置場所の近くで技工作业は行わないでください。また、直射日光や強い室内光が当たる場所、埃がたつような空間には設置しないでください。埃や粉塵により、本機が故障を起こす可能性があります。また、長期間使用しない場合は、本機を布などで覆ってください。ご不明な点は、代理店にお問い合わせください。

1.5 イメージングプレートの使用

- 本機にはデュールデンタル社製のイメージングプレートしかご使用になれません。保護カバーもデュールデンタル社指定のものをご使用ください。

1.6 電気の安全性についてのご注意

- 本機を電源に接続する際は正しく取り付けられたコンセントのみをご使用ください。
- 本機を電源に接続する前に、電源の電圧と周波数が合っているかどうか確認してください。

- 電源に接続する前に、機器と電源コードに損傷がないかチェックしてください。損傷のある電源コード、プラグ、コンセントは直ちに交換してください。
- 技術上の問題や危険が発生した場合は、直ちに電源のACアダプターを抜いて下さい。
- 故障や異常があった場合、絶対に本機を分解したり開けたりしないでください。故障の場合は必ずお買い上げの代理店に修理を依頼してください。
- 技術者が本機を開ける場合は、必ず電源コードを抜いてください。

1.7 重要情報表示について

この使用説明書では重要情報を表わす次のような表示が使用されています。
ご使用前に、以下の安全上のご注意（警告と注意）をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した事項は製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った取扱をすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに区分しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ずお読みください。

警告 Warning

死亡または重傷などを負う可能性がある警告事項を説明しています。

注意 Caution

軽傷及び中程度の傷害、または物的損害が発生する可能性がある注意事項を説明しています。

お知らせ Information

経済的に使用するための特別な情報などを記載しています。

1.8 シンボルの意味

本機及び付属品には、重要事項を示す以下のようなシンボルが使われています。シンボ

ルの意味を理解し正しくご使用ください。



電源コードを抜いてください



ON/OFFボタン



スタンバイLED、緑色



状態表示LED、黄色



再利用禁止（使い捨て品）



作業時、要グローブ使用



製造年月日

1.9 製品番号ラベル

製品番号ラベルは本体向かって左の側面に貼付してあります。以下のシンボルが機器のラベルに使用されています。



レーザーに注意



感電の危険



クラス1レーザー製品



使用前に取扱説明書を必読

REF: 2141-○○○-○○ 製品番号

SN : ○○○○○○○○○○ 製造番号



1.10 廃棄処分について

本機とその付属品を廃棄する場合には、その国の法規に従い、正しい方法で処分してください。

2. 製品情報

2.1 製品の用途

「ビスタスキャン プラス」は、イメージングプレート画像情報を取り込み、処理するための装置です。

2.2 誤った用途でのご使用

意図した用途以外、又は設計仕様範囲外で本機をご使用の場合は、製造業者によるあらゆる保証は無効となります。誤った使用による損害費用はすべて使用者の負担となりますのでご了承ください。

3. システムに必要な装置

ビスタスキャン プラス を使用するにあたり、付属の DBSWIN ソフトウェア CD 内の「インストールと設定の手順・重要事項」をお読みください。

3.1 レントゲン装置のフィルムカセット

パノラマ／セファロの撮影には、増感紙無しのフィルムカセットが必要です。もし、既にお持ちのフィルムカセットに増感紙が入っている場合は必ず接着剤等が残らないようきれいに取り除いてください。

3.2 モニター

モニターは、画面の光度が高くコントラストの強いものをお使いください。強い室内光、直射日光や反射光がモニターに当たるとレントゲン画像の診断に支障をきたす恐れがあります。

4. 同梱品／付属品

1. ビスタスキャン プラス..... 2150-000-57
2. ACアダプター 2150-470-10
3. 電源コード.....9000-119-039
4. USB データケーブル5m 9000-119-027
5. DBSWIN ソフトウェアとドライブCD
.....1 枚
6. 使用説明書（本書）... 9000-618-75/10
7. 作業の手順早見表 9000-618-81/10
8. パノラマ用イメジングプレート
150 × 300mm、ソフトカセット付
1枚入りセット 2130-051-00
9. デンタル用イメジングプレート「0+」
小児サイズ 22 × 35mm
2枚 2130-040-50
10. デンタル用イメジングプレート「2+」
標準サイズ 31 × 41mm
8枚 2130-042-50
11. IPカセット、サイズ「0」
2個 2130-010-00
12. IPカセット、サイズ「2」
8個 2130-012-00
13. カセットスタンド（サイズ 0 ～ 4）
1個 2130-030-00
14. 保護カバー、サイズ「0」
100枚 2130-070-00
15. 保護カバー、サイズ「2」
300枚 2130-072-00
16. 受け取りバー 2130-100-09
17. 白いマーカーパーン 2130-002-00
18. 日除けバイザー..... 2130-120-30
19. R+L鉛ラベル 2130-005-00

4.1 オプション品／消耗品

以下の部品は必要に応じてご注文ください。

デンタル用のイメーシングプレート

- 「0+」 小児サイズ 22 × 35mm
2枚入りセット 2130-040-50
- 「1+」 中間サイズ 24 × 40mm
2枚入りセット 2130-041-50
- 「2+」 標準サイズ 31 × 41mm
4枚入りセット 2130-042-50
- 「3+」 バイトウイング用 27 × 54mm
2枚入りセット 2130-043-50
- 「4+」 オクレーザル用 57 × 76mm
1枚 2130-044-50

パノラマ用イメーシングプレート

- 150 × 300mm、ソフトカセット付き
1 枚入りセット..... 2130-051-00
- 127 × 290mm、ソフトカセット付き
1 枚入りセット..... 2130-050-00

セファロ用のイメーシングプレート

- 8 × 10 インチ（203 × 254mm）
ソフトカセット付き
1 枚入りセット..... 2130-054-00
- 180 × 240mm、ソフトカセット付き、
1 枚入りセット..... 2130-052-00

デンタルIP用のカセット

- サイズ「0」、1 個 2130-010-00
- サイズ「1」、1 個 2130-011-00
- サイズ「2」、1 個 2130-012-00
- サイズ「3」、1 個 2130-013-00
- サイズ「4」、1 個 2130-014-00

パノラマIP用のソフトカセット

- 150 × 300、1 枚..... 2130-022-00
- 127 × 290、1 枚..... 2130-021-00

セファロIP用のソフトカセット

- 8 × 10 インチ、1 枚 2130-025-00
- 180 × 240、1 枚..... 2130-023-00

保護カバー（デンタルIP用）

- サイズ「0」、100 枚..... 2130-070-00
- サイズ「1」、100 枚..... 2130-071-00
- サイズ「2」、300 枚..... 2130-072-00
- サイズ「3」、100 枚..... 2130-073-00
- サイズ「4」、100 枚..... 2130-074-00

その他

- EPP データケーブル3m 9000-119-016
- EPP データケーブル5m 9000-119-028
- 壁用ホルダー 2130-001-00

5. 仕様

5.1 本体

電気

ACアダプターの電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
電源入力	120VA
本体の電圧	DC24V
保護の形式	クラス I
保護の程度	B 形

接続ポート

USB ポート	バージョン 1.1/2.0 対応
EPP パラレルポート	IEEE1284 通信規格

外形寸法

幅／高さ／奥行き	38 × 61 × 38cm
----------------	----------------

周囲の温度範囲

作動時	10℃～ 35℃
保管、移送時	－ 20℃～ 60℃

周囲の湿度範囲

作動時	20% ～ 90%
保管、移送時	10% ～ 95%

周囲の大気圧範囲

作動時／保管、移送時	700 ～ 1060 hPa
------------------	----------------

その他

重量	約 24kg
レーザー保護クラス	1(IEC60825.1:2001)
騒音	< 60dB(A)
熱気放射	< 140W
LEDの明るさ自動設定	○

画像

ピクセル寸法設定範囲	12.5 ～ 50 μ m
解像度はイメージングプレートのサイズと設定されたスキャンモードによって変わります。最高解像度は約 40 ラインペア/mmです。	

5.2 イメージングプレート

周囲の温度範囲

作動時	18℃～ 45℃
保管、移送時	～ 33℃

周囲の湿度範囲

作動時、保管、移送時	～ 80%
------------------	-------

解像度

付属のデュールデンタル社製イメージングプレート プラス「+」の理論的解像度は 22 ラインペア/mmです。実際の解像度は使用するレントゲン装置と、その設定によって変わってきます。

6. 製品の概略

右ページの図にある各部の機能について説明します。

1. デンタル用IP: イメージングプレート (IP) はレントゲン撮影の媒体として使用され、画像データを一時保存します。

2. 保護カバー (使い捨て):

○ 汚染されたイメージングプレートによる感染から患者を守ります。

○ イメージングプレートを汚れから守ります。

○ イメージングプレート上の画像データが光で消去されるのを防ぎます。

3. デンタルIP用カセット:

○ IPを入れたカセットを搬送部の差込口にセットし、IPを本体に挿入します。

○ カセットは、IPの画像データが室内光によって消去されるのを防ぎます。

○ カセット上にサイズが表示されています。必ずIPと同じ番号のカセットを使用してください。

○ カセットのレバーを下げてパットを出し、IPをパットに載せて差し込みます。搬送部にカセットをセットし、レバーを押し下げ、IPをカセットから搬送部内へ送り込みます。

4. カセットスタンド: カセットを立てて収納します。

5. パノラマ/セファロ用IP: イメージングプレート (IP) はレントゲン撮影の媒体として使用され、画像データを一時保存します。

6. パノラマ/セファロ用ソフトカセット:

○ IPをソフトカセットに入れた状態でレントゲン装置の撮影用カセットにセットしてください。

○ 撮影後、IPが入ったソフトカセットを搬送部の差込口にセットし、IPを本体に挿入します。

○ ソフトカセットは、IPの画像データが室内光によって消去されるのを防ぎます。

7. 差込口: IPをカセット又はソフトカセットか

ら差込口に送り込むと、IPが自動的に引き込まれて行きます。

8. 状態表示LED 黄色: 点灯しているときは、電源はONになっていますが、まだパソコンのソフトウェアにリンクしていません。点滅したときは、パソコンからのコマンドを待っている状態か、ソフトウェアリンクが切断されたか、又は装置内のデータメモリが満杯の場合です。

9. ON/OFFボタン: ボタンを押すと電源が入ります。2秒以上押すと電源が切れます。

10. スタンバイLED 緑色: パソコンのソフトウェアにリンクができると点灯します。

11. 差込口の状態表示LED: 4つの差込口に、状態表示LEDがあります。このLEDはその差込口にIPを入れてもいい状態かどうかを表しています。

○ 緑色…IPの差込み可能

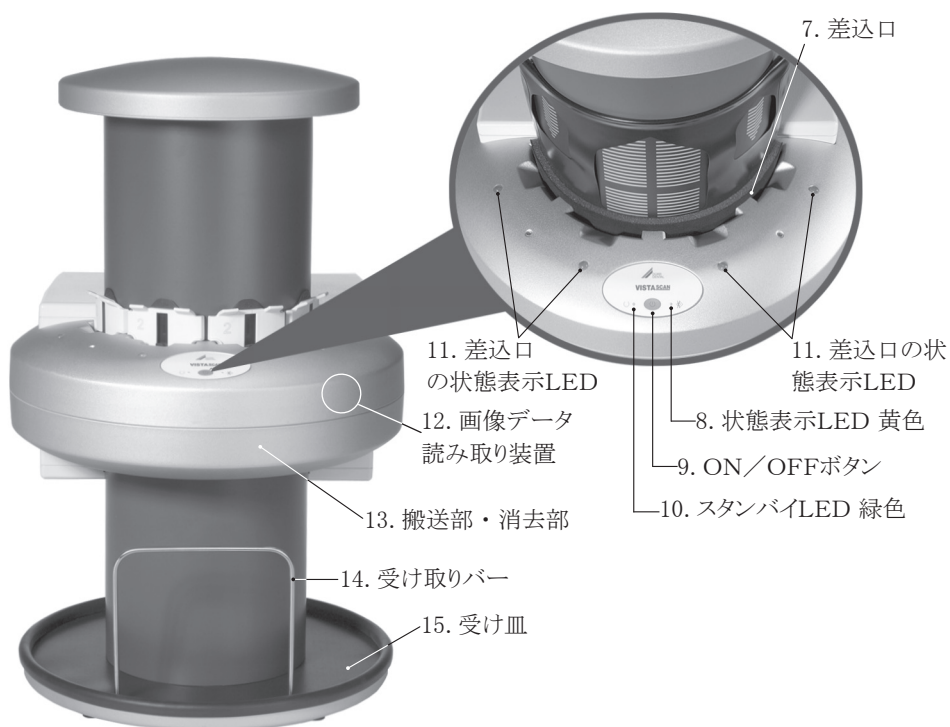
○ オレンジ色…IPの差込み不可

12. 画像データ読み取り装置: ここで、レントゲン画像はレーザー光線を使って読み取りとデジタル化が行われます。

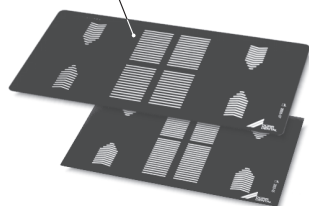
13. 搬送部・消去部: 搬送が終わると、IP上の残りのデータが消去されます。作業中は搬送部の下から消去の赤い光が見えます。

14. 受け取りバー: 受け皿に落ちてきた大きいIPを落とさないようにします

15. 受け皿: ここにスキャン済みのIPが落ちて来ます。



5.
パノラマ/セファロ用IP



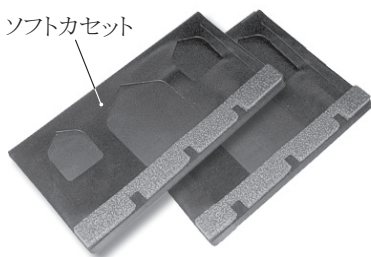
1.
デンタル用IP



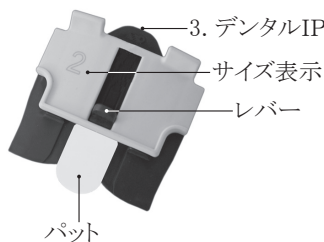
2.
保護カバー



6.
パノラマ/セファロ用
ソフトカセット



3. デンタルIP用カセット



4. カセットスタンド



6.1 本機の機能

「ビスタスキャン プラス」は新しいコンセプトに基づくイメージングプレート（IP）スキャナーです。イメージングプレートに保存されたレントゲン画像情報を高い解析度で読み取り、デジタル画像データを作成します。

イメージングプレートはフィルムと同じように、X線で感光します。

【デンタルのレントゲン撮影】

デンタル用のイメージングプレートを保護バックに入れ、保護バックを消毒します。それを患者の口内にセットし、照射します。

【パノラマ／セファロのレントゲン撮影】

イメージングプレートをソフトカセットに入れたままレントゲン装置のカセットにセットし、照射します。

【画像データの読み取り】

ON/OFFボタンで本体の電源を入れます。画像処理・データ管理ソフトウェア（例「DBSWIN」）でスキャン作業モードを選択します。

それからデンタル用IPの入ったカセット、又はパノラマ／セファロのIPが入っているソフトカセットを搬送部の差込口にセットします。

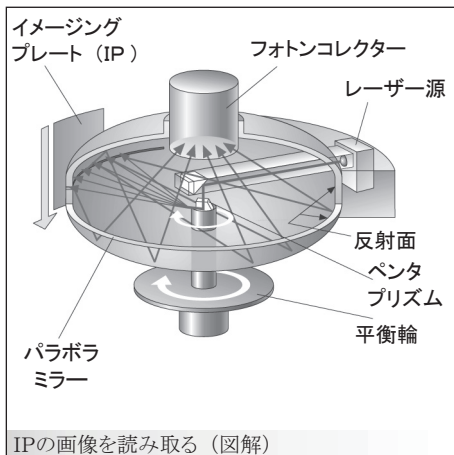
搬送部のLED表示が緑色に点灯したら、イメージングプレートを差込口に手作業で差し込みます。

デンタルの場合はレバーを押し下げてイメージングプレートを差し込みます。パノラマ／セファロの場合は、ソフトカセットを親指と人差し指で差し入れます。

イメージングプレートを差し込むと、自動的に搬送部の中に引き込まれて行きます。搬送部内で、イメージングプレートが読み取り装置を通過するとき、画像データがレーザー光線によって読み込まれます。読み込んだデータはパソコンへと送られます。画像読み込みの進度は、パソコンのモニターに表示されます。

複数のイメージングプレートが同時に読み込まれる場合は、常に同じピクセル寸法と感度設定になります。

イメージングプレートから読み取った画像



データはパソコンの中に保存されます。読み取り作業後、イメージングプレート上に残っている画像データは消去され、受け皿に出ってきます。このイメージングプレートは、また次回に使用可能です。

イメージングプレートは適切な取り扱いのもとでは、繰り返して数百回使用できます。

イメージングプレートに汚れや傷がないかを確認してください。傷の付いたイメージングプレートは使用してはいけません。



後ろ側から持ってください



搬送部を持たないで下さい



上部を持たないで下さい

組み立て／設置

警告 Warning

■ 組み立てや設置、作動開始は訓練を受けた者のみが行ってください。

7. 本体の輸送

お買い上げ時に梱包されていた元の箱は保管しておいてください。全ての梱包品を必ずチェックしてください。(4. 同梱品／付属品の項参照)

本体を輸送する際に以下のことに注意してください。

- 振動を与えないでください。壊れる恐れがあります。
- 必ずお買い上げ時に梱包されていた元の箱を使用してください。

8. 本体の持ち運び

注意 Caution

■ 本体を持ち運ぶ際は、必ず左上の図のように後ろ側の部分を持ってください。

搬送部や上部は絶対に持たないでください。機器内部の精密部品に損傷を与えることがあります。



設置例1) テーブル上に設置

警告 Warning

■ 暖かい部屋に冷えた本体を外部から運び込むと、本体に結露が発生することがあります。そのまま使用すると破損する恐れがあるため、まず本体の温度が室温と同じになり、結露が完全になくなるまで使用しないでください。

9. 設置

9.1 設置場所

- 直射日光や強い室内光の当たる場所には設置できません。
- 本機は室内でのみ使用してください。湿度が非常に高い場所への設置は避けください。
- 室温が冬季に10℃以下、夏季に35℃以上になる場所には設置できません。
- ジェネレーターなどが発する強い妨害周波数のある場所には本機を設置しないでください。機器に悪影響を与える恐れがあります。

注意 Caution

■ 本機に蛍光灯や直射日光などの強い光が当たっていると、スキャン作業を妨げる恐れがあります。そのため、照明器具の真下や日光の入る場所には本機を設置しないでください（最高照度1000ルクスまで）。光が強すぎるとスキャン時のパソコンのモニター画面に「採光過多です」というエラーメッセージが表示されます。その場合は、付属の日よけバイザーを付けてください（右頁参照）。またはより暗い場所に設置するか、照明の明るさを落としてください。本機の向きを変えるだけでも光の量が減ることがあります。

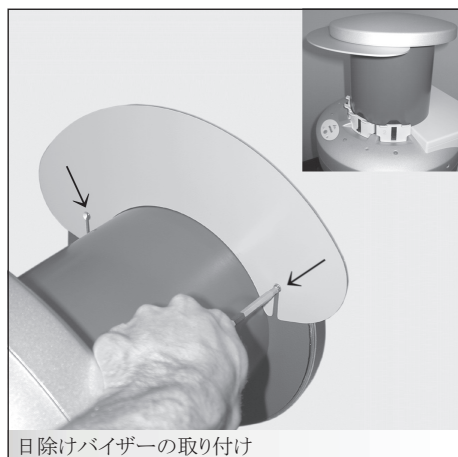
9.2 設置方法

- テーブル上に置くか、オプションの壁用ホルダーを使って壁に掛けて設置することもできます。画像データ読み込みに支障のないよう、振動のない場所に設置してください。
- 壁用ホルダーにはネジやダボが付いていません。安全に固定するためには熟練者が専門的な知識に基づいて正しい取り付けをしてください。

◇ 壁ホルダーの4つのネジ穴の直径は7mmです。壁の材質に適した取り付け方法は設置者にご相談願います。例) M6 × 50Lの六角木ビス4本使用。



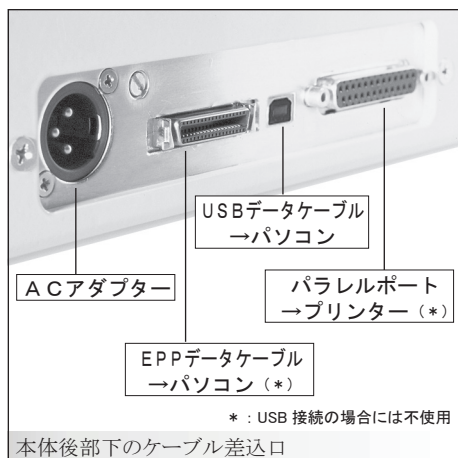
設置例2) ホルダーを使って壁に設置



日除けバイザーの取り付け

9.3 日よけバイザーの取り付け方

機器に入る光量を減らすためには、付属の日よけバイザーを機器上部に取り付けてください。取り付けには専用の長いネジをお使い下さい。



* : USB 接続の場合には不使用

本体後部下のケーブル差込口

10. 接続

10.1 パソコンへの接続

付属の USB データケーブルを本体の後部下の USB 差込口に繋いで、パソコンに接続してください。付属の5mの USB データケーブルを延長するには、ハブか電源付き延長コードをご使用ください。

EPP パラレルポートの使用：USB 接続をご使用にならない場合のみ、パソコンへの接続を EPP データケーブル（オプション）で行ってください。この場合、お持ちのプリンターを本体のパラレルポート差込み口に接続して使用できます。パラレルポートをご使用の場合は EPP モードの設定が必要なので、パソコンの BIOS 設定でご確認ください。

10.2 電源の接続

電源コードを AC アダプターに差し込んでください。AC アダプターの電源プラグを本体の後ろにつないでください。それから電源コードをコンセントに差し込んでください。

11. 運転開始の前に

11.1 ソフトウェアのインストール

付属の DBSWIN ソフトウェアの DVD をパソコンのドライブに入れてください。DVD メニューから「DBSWIN の取扱説明書」を開き、そこに記載されている指示に従って DBSWIN ソフトウェアをインストールしてください。本機は DBSWIN のバージョン 5.2 以上で作動します。

12. 運転開始

12.1 設定とテスト撮影

本機を初めて使用する前に、設定とテスト撮影を行います。作業方法は、説明書「ビスタスキャン インストール／設定／トラブルシューティング」に記載されています。説明書は「Duerr Dental」プログラムグループ内にある「デュール電子マニュアル」から開くことができます。

【設定とテスト撮影の手順】

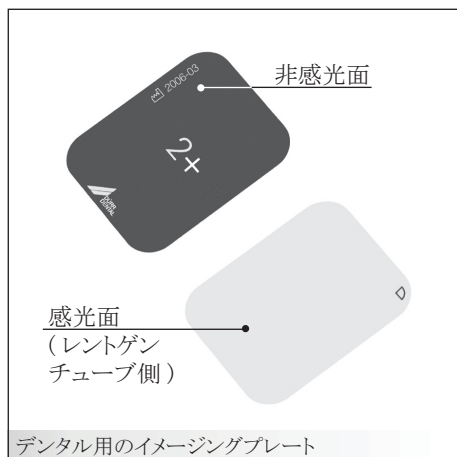
- 本体の ON/OFF ボタンを押して電源を入れます。
- パソコンで VistaConfig ソフトウェアを起動し、「ビスタスキャン プラス／ペリオ」の上部左ボタンをクリックしてください。「スキャンのテスト」を選択します。イメージングプレートの種類によって、「▲デンタルIP消去▲」か「▲パノラマ／セファロIP消去▲」のスキャンモードを選び「読み取り」のボタンをクリックします。「画像挿入」プレビュー画面が表示され、本体のランプが緑色に点灯します。イメージングプレートをテスト前に完全に消去するため、本体を一度通過させます。
- コントラスト帯をイメージングプレートに写します。
- 次に 25Lp のスキャンモードを選択し、イメージングプレートをスキャンしてください。
- 説明書「ビスタスキャン インストール／設定／トラブルシューティング」に従って VistaConfig で設定を行い、スキャンパラメーターを調整してください。レントゲン装置も場合によっては設定の調整を行う必要があります。コントラスト帯が鮮明になるように調整してください。

12.2 レントゲン装置の照射時間（秒）

以下の標準値を参考にお使いのレントゲン装置を調整し、適切な設定を行ってください。

デンタルレントゲン装置：成人の設定例

デンタルレントゲン X線チューブ 8mA, 200mm			デンタルレントゲン X線チューブ 8mA, 400mm	
	照射時間（秒）		照射時間（秒）	
	60kV	70kV	60kV	70kV
上顎切歯／犬歯	0,12	0,10	0,48	0,40
上顎小臼歯	0,16	0,12	0,64	0,48
上顎大臼歯	0,16	0,12	0,64	0,48
	60kV	70kV	60kV	70kV
下顎切歯／犬歯	0,10	0,08	0,40	0,32
下顎小臼歯	0,12	0,10	0,48	0,40
下顎大臼歯	0,12	0,10	0,48	0,40



使用方法

13. イメージングプレートの使用

- 「ビスタスキャン プラス」には、必ずデュールデンタル社の純正「+ (プラス)」イメージングプレートのみを使用してください。純正品でないイメージングプレートを使用すると、機器に影響を与え、画質が落ちてしまいます。
- デンタル用のイメージングプレートの感光面（水色）には、位置がわかるように□のマークが印刷されています。レントゲン照射は必ず感光面に当ててください。パノラマ／セファロ用イメージングプレートの感光面（白色）には位置がわかるように「Dürr Dental Imaging」と書かれています。

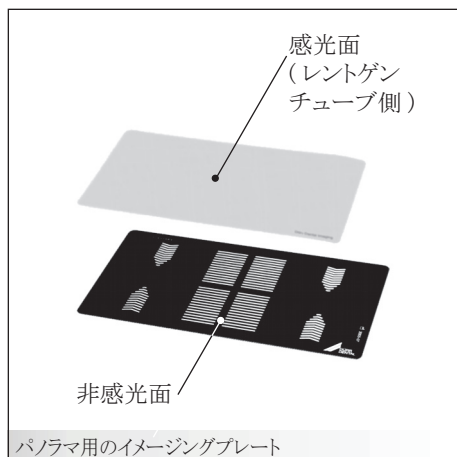
非感光面（黒色）にはサイズと製造年月日が印刷されています。

⚠ 警告 Warning

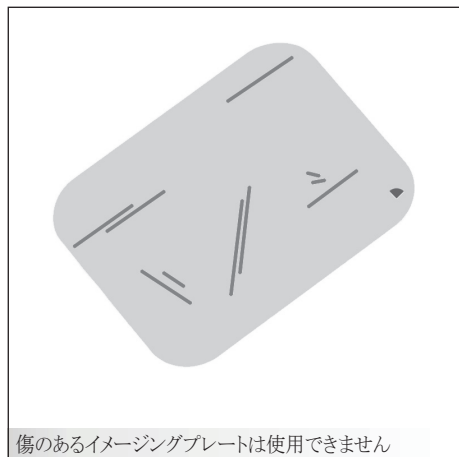
■ イメージングプレートは有害ですので、患者さんの口腔内では必ずデュール デンタル社製の専用保護カバーを使用してください。

■ 万が一、患者さんがイメージングプレートを飲み込んでしまった場合は、直ちに専門医によってイメージングプレートを体内から取り出す処置を取ってください。

■ また、患者さんが保護カバーを噛んで破ってしまった場合は、すぐに口中を水で何度もよくゆすいでもらってください。



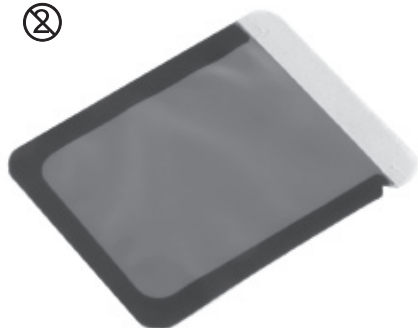
- イメージングプレートはレントゲンフィルムと同じく柔軟に曲がりますが、注意深く扱ってください。折り曲げたり、何かの跡をつけたり、ひっかいたり、汚したりしないでください。イメージングプレートは高温多湿の場所に保管しないでください。
- イメージングプレートに汚れが付いていると撮影画像に影響を及ぼします。汚れた場合は、アルコールを含ませた布で拭い



てください。

- 24時間以上使用せずに保管してあったイメージングプレートには、撮影の前に一度消去作業を行ってください。消去をするには、スキャンモードで「▲デンタルIP消去▲」を選んでから「読み取り」のボタンをクリックします。イメージングプレートが一度本体を通過することで消去されます。
- 保護カバーにはイメージングプレートと同様に様々なサイズがあります。正しいサイズをお使いください。

! 注意	Caution
■ イメージングプレートに直射日光や紫外線が当たらないようにして下さい。 ■ レントゲン室に保管する場合は、イメージングプレートがX線によって露光するのを防いでください。 ■ イメージングプレートはオートクレーブによる滅菌はできません。 ■ イメージングプレートに画面上で見えるような傷がある場合、診断に影響を与えますので、新しい物に取り替えて下さい。	



保護カバー

14. 保護カバー

- 汚染されたイメージングプレートによる感染から患者さんを守ります。
- イメージングプレートを汚れから守ります。
- イメージングプレートを光から守ります。
- 保護カバーにはイメージングプレートと同様に様々なサイズがあります。正しいサイズをお使いください。



注意 Caution



■ 保護カバーは使い捨て品で、再利用は硬く禁止されています。衛生上の問題がありますので、再利用は絶対にしないでください。また純正の保護カバー以外の代用品を使用すると、患者さんに感染の危険があるだけでなく、イメージングプレートを傷つけてしまいますので、絶対におやめください。



カセット（デンタルIP用）

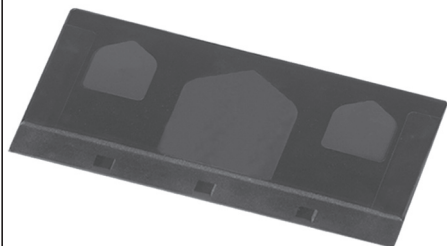
15. カセット

- デンタルIP用のカセットとパノラマ／セファロIP用のソフトカセットは、光によってイメージングプレート上の画像データが消えるのを防ぎます。
- カセットを使用して、イメージングプレートを挿入口に差し込みます。



注意 Caution

■ カセットはオートクレーブによる滅菌はできません。



ソフトカセット（パノラマIP用）



IPを保護カバーに入れます



白いテープをはがし封をします



保護カバーを清潔にします

16. デンタル撮影



注意 Caution

■ 20 章の「衛生について」に従ってください。

16.1 健康を守るために

イメージングプレートが患者さんに直接触れることは有害です。そのため、必ずデュールデンタル社製の純正保護カバーを使用します。



警告 Warning

■ イメージングプレートを患者さんの口内に入れる時は必ず保護カバーを使用してください。万が一患者さんがイメージングプレートやその一部を飲み込んでしまった場合は、直ちに専門医に相談し、イメージングプレートを体内から取り除く処置を取ってください。また、患者さんがイメージングプレートを噛んで傷つけてしまった場合は口の中を水でよくゆすいでもらってください。

16.2 保護カバーの使用

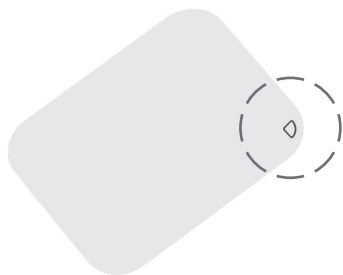
- 保護カバーにはイメージングプレートと同様、各種サイズがあります。適切なサイズを選んでください。
- イメージングプレートを確実に保護カバーの中に差し込んでください。非感光面（黒色）が保護カバーの透明な面から見えるように入れてください。
- 白いシールのテープをはがして保護カバーを閉じ、よく押さえて完全に封をしてください。



警告 Warning



■ 保護カバーは使い捨て品で、再利用は硬く禁止されています。



◇ イメージングプレートには□のマークが書いてあります。この文字はレントゲン画像の中でも見ることができ、診断の際に位置がわかり易くなります。

位置を示すマーク

16.3 レントゲン撮影

- 24時間以上使用せずに保管してあったイメージングプレートには、撮影の前に一度消去作業を行ってください（19.「イメージングプレートの消去」の章参照）。
- 保護カバーは患者さんの口に入れる前に必ずアルコールティッシュで拭いて消毒してください。
- 保護カバーに入ったイメージングプレート患者さんの口の中にセットします。
- レントゲン装置の照射時間と調整値を設定してください。
- レントゲン撮影を行ってください。



IPの感光面をレントゲンチューブ側に



注意

Caution



■ イメージングプレートを患者さんの口の中に入れるときは手袋を着用してください。



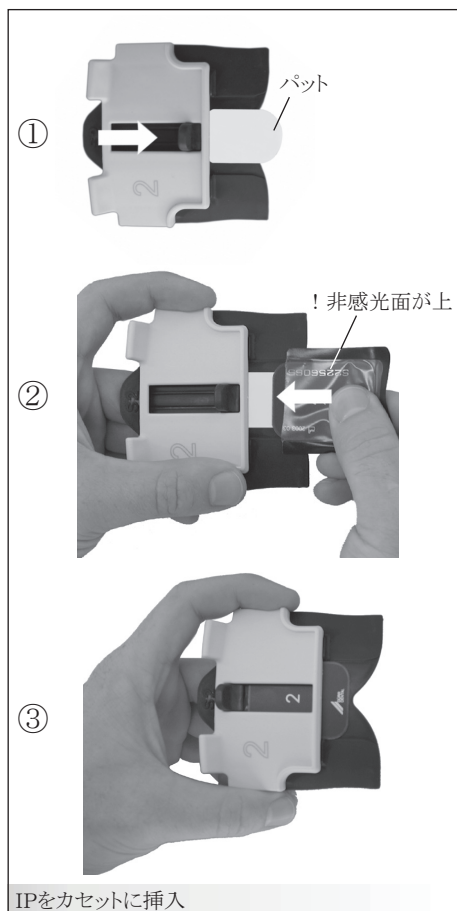
注意

Caution

■ イメージングプレートの感光面（水色）を正しくレントゲンチューブ側に向けてください。

■ ホルダー（左下の図）を使う場合は保護カバーやイメージングプレートを傷つけないように注意してください。

■ イメージングプレート上の画像データは撮影後30分以内に読み込んでください。



16.4 デンタルIPのスキャン準備

！ 注意 Caution



■ 患者さんの口から保護バックに入っているイメージングプレートを取り出す時は、手袋を着用してください。イメージングプレートを保護バックから出す際に手に手袋のパウダーが付着していないように、よく手を洗ってください。パウダーがイメージングプレートの読み取り装置に障害を与えることがあります。

- 保護カバーや手袋が血液などでひどく汚れている場合は、消毒をする前に清潔な布などで拭いてください。
- 次に、保護カバーをアルコールティッシュで拭いて消毒します。
- 手袋を脱いだら、手を消毒洗浄してください。
- 保護カバーをV字型の切り込みから破いて開けてください。
- イメージングプレート（IP）に合うカセットを用意します。

【IPをカセットに挿入・左図参照】

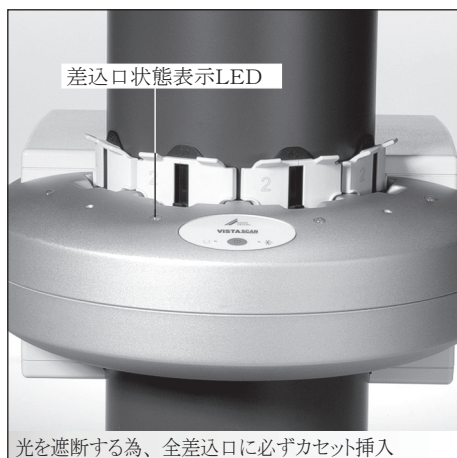
- ① レバーをスライドさせ、パットを出します。
- ② 保護カバーに入れたままのIPを黒い非感光面を上にしてパットに載せます。
- ③ 保護カバーから押し出すようにしてIPだけをカセットの奥まで差し込みます。保護カバーを外すとき、レバーの窓からIPを指で押さえても構いません。IPがカセットに収まり、レバーが元に戻ります。

！ 注意 Caution

■ イメージングプレート上の画像データは光によって消えてしまいます。ですからレントゲン撮影後のイメージングプレートは絶対に保護カバーやカセット無しで扱わないでください。



カセットを差込口に入れます



光を遮断する為、全差込口に必ずカセット挿入



レバーを下げてIPを挿入

16.5 デンタルIPのスキャン

- ON/OFFボタンを押し、本体の電源を入れてください。黄色の状態表示LEDが点灯します。
- パソコンとモニターのスイッチを入れます。
(注：ここでは画像処理・データ管理ソフトウェアとして「DBSWIN」を使用する例で説明します。)次に「DBSWIN」を起動し、該当するカルテを選択してください。「レントゲン」のタブを選んでIPのスキャン準備をします。デンタル撮影の種類とスキャンのモードを選択し「読み取り」ボタンをクリックします。詳細は18章をお読みください。
- IPの入っているカセットを差込口にしっかりと中まで入れます。

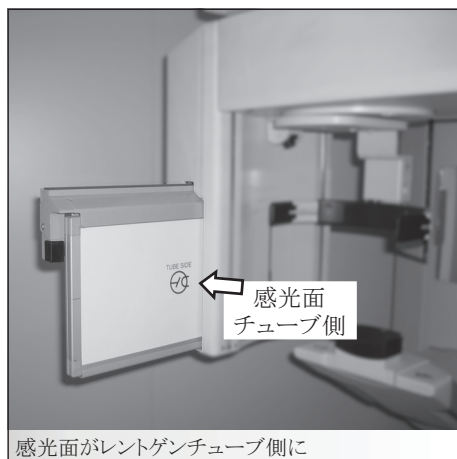
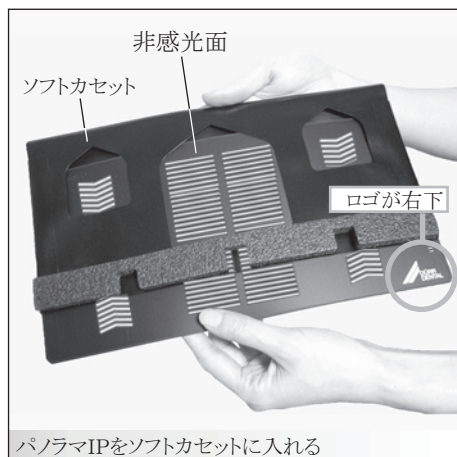
注意 Caution

■ スキャン時は、光を遮断するため、全ての差込口にカセットを入れた状態にしておく必要があります。スキャン枚数が4枚に満たない時は、空のカセットを入れます。LEDが緑色に戻るまで、どのカセットも取り外さないでください。

お知らせ Information

◇ 4枚のデンタルIPを同時に読み取ることができます。同時に読み込む場合は同じ解像度になります。

- スキャン準備が完了すると、差込口のLEDが緑色に点灯します。IPが自動的に中に引き込まれて行くまで、カセットのレバーを押し下げてください。スキャン中、差込口のLEDはオレンジ色に点灯します。
- スキャン後にIP上の画像データは消去されます。作業が終了すると、IPが受け皿に落ちてきます。差込口状態表示LEDがまた緑色に点灯します。
- 画像データは自動的にパソコンに送られます。読み込んだ画像はDBSWINで保存してください。
- 次の撮影のためにイメージングプレートを準備してください。



17. パノラマとセファロの撮影

! 注意 Caution

■ レントゲン装置のフィルムカセットは、増感紙が入っていないものが必要です。増感紙が入っていると画質が落ちてしまいます。もし、既にお持ちのフィルムカセットに増感紙が入っている場合は必ず接着剤等が残らないようきれいに取り除いてください。

17.1 レントゲン撮影

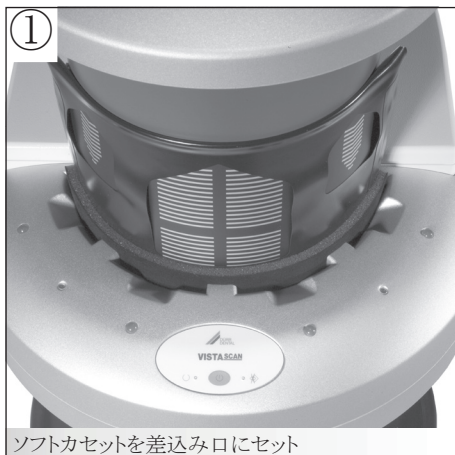
- 24時間以上使用せずに保管してあったイメージングプレートには、撮影の前に一度消去作業を行ってください（19.「イメージングプレートの消去」の章参照）。
- 消去されたIPを非感光面が見えるように、またデュールのロゴが右下になるようにソフトカセットに入れてください。（左上段の図参照）
- IPが入っているソフトカセットをレントゲン装置のフィルムカセットに入れます。感光面がレントゲンチューブ側にくるように入れてください。（左中段の図参照）
- フィルムカセットをIPの感光面がレントゲン装置のチューブ側にくるようにセットしてください。（左下段の図参照）。
- 照射時間と調整値を設定してください。
- レントゲン撮影を行ってください。

i お知らせ Information

◇ 付属の「R + L 鉛ラベル」をフィルムカセットに貼り付けると、撮影の際にIPの左右がわかるようになります。

! 注意 Caution

■ イメージングプレート上の画像データは撮影後30分以内に読み込んでください。



ソフトカセットを差込み口にセット



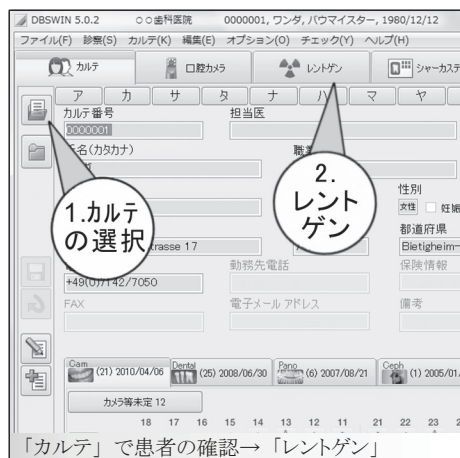
IPを下方へ押しながら挿入

⚠ 注意 Caution

■ スキャン作業中は、光が入って画像データが消えるのを防ぐため、挿入口にソフトカセットを差し込んだままにしてください。挿入口のLEDが全て緑色に変わるまでソフトカセットを外さないでください。

17.2 パノラマ／セファロIPのスキャン

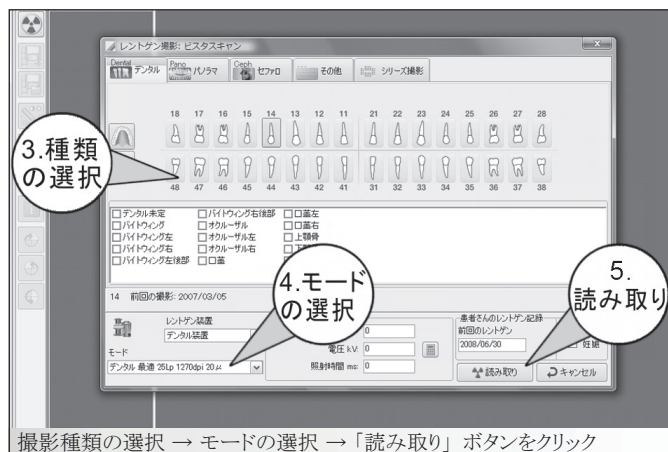
- ON/OFFボタンを押し、本体の電源を入れてください。黄色の状態表示LEDが点灯します。
- パソコンとモニターのスイッチを入れます。
(注：ここでは画像処理・データ管理ソフトウェアとして「DBSWIN」を使用する例で説明します。)次に「DBSWIN」を起動し、該当するカルテを選択してください。「レントゲン」のタブを選んでIPのスキャン準備をします。パノラマ又はセファロ撮影の種類とスキャンのモードを選択し「読み取り」ボタンをクリックします。詳細は18章をお読みください。
- スキャン準備が完了すると、差込口のLEDが緑色に点灯します。
- IPは、スキャン前にソフトカセットから取り出さないでください。レントゲン撮影時に入れた状態のままで白い感光面が内側、黒い面が外側になるように差込み口にセットします。
写真①：IPの入っているソフトカセットを本体の丸みに沿わせず。下部のスポンジ溝と差込み口の突起が一致するようにセットします。
写真②：ソフトカセットに手をそえ、本体側に押し付けながら、円筒に沿わせてIPが自動的に引き込まれていくまで押し下げてください。スキャン中は挿入口のLEDがオレンジ色に点灯します。
- スキャン後にIP上の画像データは消去されます。作業が終了すると、IPが受け皿に落ちてきます。差込口状態表示LEDがまた緑色に点灯します。
- 画像データは自動的にパソコンに送られます。読み込んだ画像はDBSWINで保存してください。
- 次の撮影のためにイメージングプレートを準備してください。



「カルテ」で患者の確認→「レントゲン」

18. DBSWIN ソフトウェア使用例

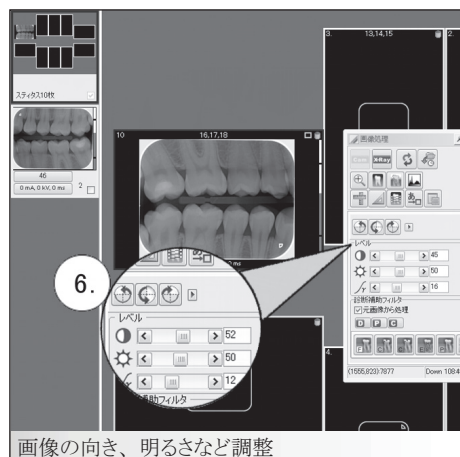
- DBSWIN を起動し、該当する患者さんのカルテを選択してください。次に「レントゲン」のタブをクリックしてスキャン準備をします。「撮影種類」と「モード」を選択し「読み取り」ボタンをクリックします。
- 「画像挿入」の画面で読み取りの状態が見られます。
- 画像データは自動的に DBSWIN に取り込まれます。
- 画像処理の機能を使って画像の向きを変えたり、明るさ、コントラストやガンマ調整を行います。



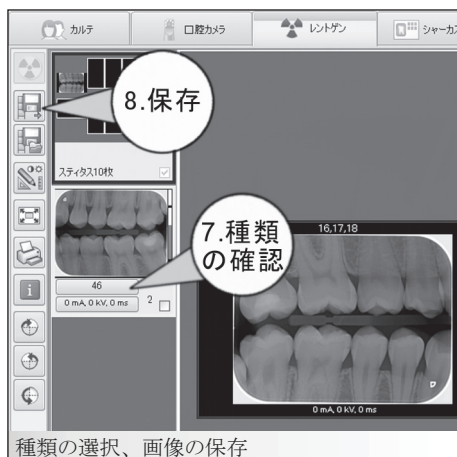
- 読み取った画像のサムネイル下部にあるボタンに撮影の種類が表示されます。種類が正しいかどうか確認し、変更が必要な場合は、ボタンをクリックしてください。
- 最後に「保存」のボタンをクリックして画像を保存してください。

詳細は DBSWIN の「ヘルプ」をご覧ください。

撮影種類の選択 → モードの選択 → 「読み取り」ボタンをクリック



画像の向き、明るさなど調整



種類の選択、画像の保存



お知らせ Information

◇ 消去スキャンモードを使用する場合は、機器の消去部のみが作動し、画像がソフトウェアに送られることはありません。



19. イメージングプレートの消去

スキャン後にIP上の画像データは消去されません。作業が終了すると、IPが受け皿に落ちできます。

【以下の場合には手作業でイメージングプレートの消去作業を行ってください】

- イメージングプレートを24時間以上使用せずに保管してあった場合
- 機器のエラーでイメージングプレートが完全に消去されなかった場合（エラーメッセージが表示されます）

【手作業によるイメージングプレートの消去】

- イメージングプレートを挿入口にセットします。
- DBSWIN ソフトウェアで「レントゲン」の画面か、「画像挿入」（スキャンレビュー）の画面でイメージングプレートと一致する消去のモードを選んでください：

デンタルの場合

→ 「▲デンタルIP消去」

パノラマ／セファロの場合

→ 「▲パノラマ／セファロIP消去」を選んでください。

- 16.5 章と 17.2 章を参照し、イメージングプレートを挿入口に入れ、消去してください。

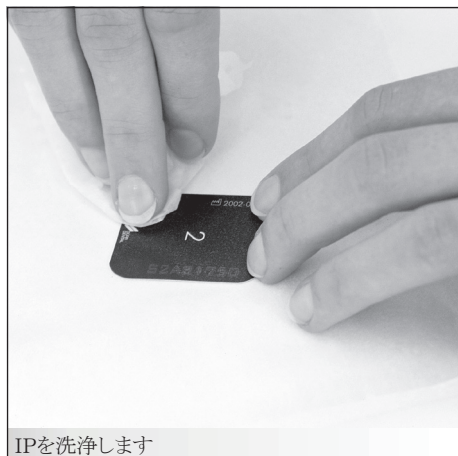
【IPの消去機能をOFFにする】

スキャン前に「画像挿入」の画面で今回のスキャン作業に限りイメージングプレートの消去機能をOFFにすることができます。左図の画面で電球のマークのボタンをクリックしてください。

VistaConfig の「スキャンの設定」で、モードごとに、イメージングプレートの消去機能をON/OFFすることができます。OFFになっている場合は、スキャン後に上記のように手作業で消去しなければなりませんのでご注意ください。



撮影後、保護カバーを洗浄します



IPを洗浄します



カセットを洗浄します

20. 衛生について



注意 Caution

■ オートクレーブでの滅菌はできません。

【保護カバー】

保護カバーは、患者さんの口中にセットする前と口中から取り出した後にアルコールティッシュで洗浄・消毒し、乾かしてから使用してください。

【イメージングプレート】

イメージングプレートは定期的にエタノールかイソプロパノールのアルコールを含ませた布（繊維が残らないもの）で拭いてください。その他の洗浄剤を使用するとイメージングプレートが損傷します。ひどい汚れの場合は、そっと小さな円を描くように拭いてください。洗浄の際は、傷をつけないようにお気をつけください。

【カセット】

カセットはアルコールティッシュで定期的に洗浄・消毒してください。完全に乾かしてから使用してください。



ソフトカセットを洗浄します

【ソフトカセット】

ソフトカセットはアルコールティッシュで定期的に洗浄・消毒してください。完全に乾かしてから使用してください。



本体を濡らした布で拭きます

【本体】

本体は、水で濡らし硬く絞った布巾で拭いてください。イメージングプレート of 挿入口、出口や受け取り皿の部分は特に汚れが付着しやすいので、念入りに拭き取ってください。



注意 Caution

■ 本体を拭く際、水が本体内部に入らないようご注意ください。

21. メンテナンス

約3年間のご使用后、技術者による搬送部とレーザー光出口の清掃及び、搬送部のバンドと遮光ブラシの交換が必要です。詳しくはお買い上げの代理店にお問い合わせ下さい。

トラブルシューティング

22. “故障” かな？と思ったら

最新の情報は DBSWIN ソフトウェア内に記載されています。「すべてのプログラム」→「Duerr Dental」→「DBSWIN」→「インストールと設定の手順・重要事項」をご覧ください。

こんなとき	考えられる原因	このようにしてください
1. 電源が入らない	○ 電源につながっていない ○ 電源スイッチの故障	○ 電源ケーブル、コンセントの接続を点検 ○ 建物のブレーカーを点検 ○ ACアダプターの緑色のLEDが点いているかどうかを点検 ○ お買い上げの代理店に修理を依頼してください
2. 電源がすぐに切れてしまう	○ ケーブルかコンセントがしっかりと差し込まれていない ○ 本体の故障 ○ 電圧が低すぎる	○ 電源ケーブルとコンセントの接続を点検 ○ お買い上げの代理店に修理を依頼してください ○ 電圧を点検してください
3. LEDランプ(スタンバイ、状態表示、差込口の状態表示)が点灯しない	○ LEDの故障	○ お買い上げの代理店に修理を依頼してください
4. 電源を入ると「ガタガタ」「ビーン」などの異音をする	○ 30秒たっても異音がおさまらない場合は、故障です	○ お買い上げの代理店に修理を依頼してください
5. パソコン又はDBSWINソフトウェアが本機を認識せず、「スキャナーが接続されていません」というエラーメッセージが出る	○ 電源が入っていない ○ 本体とパソコンのデータケーブルが接続されていない ○ ビスタスキャンドライバがインストールされていない ○ パソコンの平行ポート設定ミスか、間違った平行ポートを使用している ○ 本体の故障	○ 電源接続を点検してください ○ データケーブルの接続を確認してください ○ ドライバをDBSWINのCDからインストールしてください ○ パソコンの平行ポートはEPPモードになっていなければなりません。これはパソコンのBIOSで設定できます。 ○ お買い上げの代理店に修理を依頼してください
6. データ搬送時エラー「CRC エラー」と「タイムアウトエラー」	○ 間違った、あるいは長すぎるデータケーブルが使用されている ○ ドライバインストール時に機種を選択を間違えた	○ 純正のデュールデンタル社製データケーブルをお使いください。 ○ ドライバをDBSWINのCDからインストールしてください

こんなとき	考えられる原因	このようにしてください
7. IPが搬送部に入っていない	○ IPカセットが正しく挿入されていないか、レバーが下まで押し下げられていない	○ IPカセットを正しく挿入するか、レバーをIPが自動的に入っていくまで、押し下げてください
	○ 挿入したIPのサイズが選択したスキャンモードと一致しない	○ 挿入するIPと一致するスキャンモードを選択して下さい
	○ スキャンの準備ができていない	○ 16.4章又は17.2章を参照し、スキャンの準備作業を確認してください
	○ 搬送ベルトの破損	○ お買い上げの代理店に修理を依頼してください
8. レントゲン画像がスキャンされた後にモニター上に出てこない	○ IPを反対向きに挿入してしまった	○ IPをもう一度正しい方向で挿入スキャンします
	○ IPに画像が写っていない 照射量が低すぎるか、レントゲン装置の故障など	○ IPをもう一度照射してください
	○ 画像データが周囲からの光によって消去された	○ イメージングプレートに光が当たらないよう注意してください
	○ 本体の故障	○ お買い上げの代理店に修理を依頼してください
9. レントゲン画像が明るすぎる／暗すぎる	○ レントゲン装置の設定が適切でない	○ レントゲン装置の設定を確認してください。
	○ DBSWINとスキャンモードの設定が適切でない	○ 明るさとコントラストとガンマ調整はDBSWINで設定できます「インストールと設定の手順・重要事項」をご覧ください
	○ 撮影済みのIPに室内光が当たりすぎた	○ イメージングプレートに光が当たらないよう注意してください
10. デンタル画像がモニター上で斜めになってしまう	○ IPをカセットにいれずに挿入してしまった	○ IPは必ずカセットを使って挿入してください
	○ 間違ったサイズのカセットを使用した	○ 常にそのIPに合ったサイズのカセットを使ってください
11. レントゲン画像が反対向きや回転した状態で表示される	○ IPをカセットに入れる向きが違っていたか、患者さんの口内で間違った方向にセットされた	○ IPは正しい方向でカセットに入れ、口内で正しくセットしてください
	○ スキャンモードの設定ミス	○ スキャンモードの設定において、「画像を左右反転」と「画像の回転」の機能を選ぶことができません。鏡像や回転画像にたくない場合は、この機能をオフにしてください（VistaConfig「スキャンの設定」）

こんなとき	考えられる原因	このようにしてください
12. レントゲン画像に前回の画像が重なって影のように写っている	○ 消去機能の設定がOFFになっているか、スキャン作業中に消去機能をOFFにしてしまった	○ スキャンモード設定で消去機能をONにしてください。消去されなかったIPは手作業で消去してください(19章参照)
	○ エラーメッセージが表示され、IPが完全に消去されなかった	○ 消去部の機能を確認することが必要です。同じ問題が繰り返し発生する時は、お買い上げの代理店に連絡してください
13. スキャン画像が部分的にしか画面上に表示されない(画像が欠けているなど)	○ 室内の採光が強すぎる	○ 室内の照明を落としてください(9.1章「設置場所」参照)
	○ レントゲンの照射量設定が低すぎる	○ レントゲン照射量を高くしてください
	○ スキャン強化の設定が低すぎる	○ VistaConfigで「スキャンの設定」→「スキャンモード」を選び、「HV」欄の数値を上げてください。
	○ スキャン閾値(しきいち)の設定が高すぎる	○ VistaConfigで「スキャンの設定」→「スキャンモード」を選び、スキャンの「閾値」欄の数値を低くしてください(400以下にならないよう)
14. スキャン画像に縞模様が入る	○ 室内の採光が強すぎる	○ 9.1章「設置場所」をご覧ください
	○ 撮影後のIPに光が当たった	○ 照射済みIPは光に当てないようにご注意ください。スキャン作業は撮影後30分以内に行ってください
	○ IPの一部が、手で扱われる際に光にさらされた	○ 撮影後のIPを明るい光にさらさないでください
	○ IPに汚れか傷がついた	○ IPは柔らかい布にエタノールかイソプロパノールをつけ、そっと拭いてください。傷が付いてしまったIPは使用できませんので、取り替えてください
	○ 搬送方向に向かって傷ができる場合は、読み取り部に埃などの汚れが大量に付着している可能性があります	○ お買い上げの代理店に機器内部の清掃を依頼してください
15. デンタルIPが受け皿に落ちない	○ デンタルIPが静電気のせいで搬送部の下部に引っかかっている	○ デンタルIPを手で取ってください

こんなとき	考えられる原因	このようにしてください
16. 「採光過多です」のエラーメッセージ	○ デンタルIPカセットが全て差し込まれていないか、又はパノラマのソフトカセットが正しくセットされていない	○ デンタルIPの場合はカセットを4箇所とも差し込んでください。パノラマの場合はソフトカセットのスポンジ部分が遮光の役割を果たすよう正しくセットしてください
	○ 室内の採光や照明が強すぎる	○ 室内の照明を落としてください (9.1章「設置場所」参照)
	○ 本体の遮光ブラシの磨耗	○ 光が差込口に直接当たらないように、本体の向きを変えてください ○ お買い上げの代理店に遮光ブラシの交換を依頼してください
17. スキャンプレビュー画面に白い筋が入っている	○ スキャン中に室内光が入りすぎた	○ デンタルIPの場合はカセットを4箇所とも差し込んでください。パノラマの場合はソフトカセットのスポンジ部分が遮光の役割を果たすよう正しくセットしてください
		○ 室内の照明を落としてください (9.1章「設置場所」参照)
	○ 本体の遮光ブラシの磨耗	○ 光が差込口に直接当たらないように、本体の向きを変えてください ○ お買い上げの代理店に遮光ブラシの交換を依頼してください
18. スキャン画像の他に明暗の縞模様が部分的にいくつも表示される	○ スキャン中に室内光が入りすぎた	○ デンタルIPの場合はカセットを4箇所とも差し込んでください。パノラマの場合はソフトカセットのスポンジ部分が遮光の役割を果たすよう正しくセットしてください
		○ 室内の照明を落としてください (9.1章「設置場所」参照)
	○ 本体の遮光ブラシの磨耗	○ 光が差込口に直接当たらないように、本体の向きを変えてください ○ お買い上げの代理店に遮光ブラシの交換を依頼してください

こんなとき	考えられる原因	このようにしてください
19. 画像の上部、又は周囲に白い部分が出てしまう	○ スキャン中に余分な光が入り、ソフトウェアがその部分も画像として認識してしまった	○ デンタルIPの場合はカセットを4箇所とも差し込んでください。パノラマの場合はソフトカセットのスポンジ部分が遮光の役割を果たすよう正しくセットしてください ○ スキャン作業が完全に終わるまでカセットを外さないでください ○ 室内の照明を落としてください(9.1章「設置場所」参照) ○ 光が差込口に直接当たらないように、本体の向きを変えてください ○ お買い上げの代理店に遮光ブラシの交換を依頼してください
20. 「ACアダプターの種類が違います」のエラーメッセージ	○ 旧モデルのACアダプターを使用している ○ 本機の故障	○ デュールデンタル社製の純正の120WのACアダプターをお使いください。 ○ お買い上げの代理店に修理を依頼してください
21. 「機器内部の温度が高すぎます」のエラーメッセージ	○ レーザー部分の温度が高すぎる ○ 消去部の温度が高すぎる ○ 本機の故障	○ 本機の電源を切り、温度が下がるまで待ってください ○ お買い上げの代理店に修理を依頼してください
22. 「消去灯の故障」のエラーメッセージ	○ 消去灯の故障 ○ 消去灯が汚れている	○ お買い上げの代理店に修理を依頼してください

付録

スキャン時間

このリストは、イメージングプレート（IP）が自動的に挿入されてから完全にスキャンが終わるまでの時間を表示しています。IPの大きさやスキャンモードの設定によってスキャン時間も変わってきます。四捨五入したおおよその値であるため多少の誤差があります。四角く囲った部分の設定がお勧めの設定（初期設定）です。

解像度（ラインペア / mm）	40	20	10, 00	6, 67	5, 00	4
ピクセル寸法（ μ m）	12, 5	25	50	75	100	125

スキャンモード	最大	高	標準			
デンタル（2 × 3）	55 秒	27 秒	14 秒	9 秒	7 秒	6 秒
デンタル（2 × 4）	61 秒	30 秒	15 秒	10 秒	8 秒	6 秒
デンタル（3 × 4）	61 秒	30 秒	15 秒	10 秒	8 秒	6 秒
デンタル（2. 7 × 5. 4）	78 秒	39 秒	20 秒	13 秒	10 秒	8 秒
デンタル（5. 7 × 7. 6）	103 秒	51 秒	26 秒	17 秒	13 秒	10 秒

スキャンモード			高	標準	低
パノラマ（1 5 × 3 0）	—	—	48 秒	32 秒	24 秒

スキャンモード			高	標準	低
セファロ（2 0 × 2 5）	—	—	63 秒	42 秒	32 秒

5 ラインペア / mm の解像度の設定で、パノラマをスキャンするとピクセル寸法が 100μ m になります。設定を次のレベルに上げると、ピクセル寸法は 75μ m になります。しかし、パノラマレントゲン装置の射影方式によっては、より高い設定にしても効果はありません。デンタルの場合、ピクセル寸法が $12.5 \sim 50 \mu$ m になるように設定することをお勧めします。

画像ファイルのサイズ

このリストは、DBSWIN で保存した画像ファイルのサイズです。ここに示してあるのは DBSWIN の画像圧縮率設定を「ロスのない圧縮」にした場合のサイズです（初期設定）。圧縮率設定を「ロスのある圧縮」にすると、サイズをさらに縮小できます。その場合、画質が多少落ちることもありますのでご注意ください。

以下の数値は四捨五入したおおよその値ですから多少の誤差があります。四角く囲った部分の設定が初期設定です。

解像度（ラインペア / mm）	40	20	10, 00	6, 67	5, 00	4
ピクセル寸法（ μ m）	12, 5	25	50	75	100	125

スキャンモード	最大	高	標準			
デンタル（2 × 3）	4. 7 MB	1. 2 MB	0. 3 MB	0. 13 MB	0. 08 MB	0. 05 MB
デンタル（2 × 4）	5. 8 MB	1. 5 MB	0. 4 MB	0. 16 MB	0. 09 MB	0. 06 MB
デンタル（3 × 4）	7. 7 MB	1. 9 MB	0. 5 MB	0. 21 MB	0. 12 MB	0. 08 MB
デンタル（2. 7 × 5. 4）	8. 8 MB	2. 2 MB	0. 6 MB	0. 25 MB	0. 14 MB	0. 09 MB
デンタル（5. 7 × 7. 6）	25. 8 MB	6. 5 MB	1. 8 MB	0. 8 MB	0. 4 MB	0. 25 MB

スキャンモード			高		標準	低
パノラマ（1 5 × 3 0）	—	—	17. 0 MB	7. 4 MB	4. 2 MB	2. 65 MB

スキャンモード			高		標準	低
セファロ（2 0 × 2 5）	—	—	17. 3 MB	7. 5 MB	4. 2 MB	2. 65 MB

製造販売元(日本国内):

株式会社ヨシダ 〒110-8507 東京都台東区上野 7-6-9

DÜRR DENTAL AG (ドイツ)
Höpfigheimer Straße 17
74321 Bietigheim-Bissingen

Tel: +49 7142-705-0
Internet: www.duerr.jp

